

令和5(2023)年度2月補正予算案について

【一般会計補正予算第5号】

今回の補正予算は、12月補正予算に引き続き、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に呼応し、医療福祉職員の処遇改善に向けた支援や新興感染症の発生に備えた対応力強化を図るとともに、公立学校における情報通信機器整備など次年度以降に必要な事業の財源に充てるため、基金への積立を行うものである。

また、歳入歳出について現段階における見込みによる精査を行い、今後の財政運営の安定に資するため、財政調整的基金の涵養を図ることとして編成したものである。

I 一般会計歳入歳出予算補正の内訳

1 補正額		▲ 379 億	9,818 万円	
国経済対策分		12 億	3,153 万円	
通常分		▲ 392 億	2,971 万円	
2 補正後累計	1 兆	17 億	1,085 万円	
【令和4(2022)年度2月補正後予算額	1 兆	767 億	5,030 万円	比 93.0%】
3 補正の財源				
(1) 県税		▲ 40 億円		
(2) 地方消費税清算金		▲ 66 億	6,500 万円	
(3) 地方交付税		47 億	1,916 万円	
(4) 国庫支出金		▲ 326 億	7,325 万円	
(5) 繰入金		▲ 23 億	3,392 万円	
(6) 繰越金		180 億	6,796 万円	

(7) 諸収入	▲ 36 億	4,478 万円
(8) 県債	▲ 110 億	9,900 万円
(9) その他	▲ 3 億	6,935 万円

※ 令和5(2023)年度末県債残高見込み 1 兆 1,702 億 8,920 万円
(臨時財政対策債除く 6,840 億 890 万円)

4 歳出の主な内容

・職員費	▲ 20 億円		
・退職手当	▲ 21 億	6,180 万円	
・公債償還費	▲ 25 億	2,063 万円	
・税交付金等	▲ 63 億	5,800 万円	
・主要義務費(退職手当除く)	▲ 10 億	6,375 万円	
・基金積立金	268 億	1,905 万円	
・公共事業費	▲ 129 億	9,578 万円	
・建設事業費	▲ 75 億	4,990 万円	
・災害復旧費	▲ 12 億	9,136 万円	
・直轄事業負担金	▲ 3 億	9,833 万円	など